

連絡文例(参考)

1 メール・FAX

(送信例)

大田区の応急危険度判定員連絡訓練です。

「昨夕発生した大きな地震により、区内の一般住宅にもかなりの被害が出ている模様です。

つきましては、大田区応急危険度判定員会にご登録いただいている皆様にもご協力いただきたく、この先の約10日間のうち、応急危険度判定関係ボランティアに従事していただける日にちを、お名前とともにご連絡ください。

例1：大田太郎 9月16日～9月25日 従事可

例2：大田花子 当方被災被害大きく従事不可

※15日(木)20時が訓練返信期限です。期限を過ぎた場合は返信の必要はありません。

(返信例)

訓練 大田太郎 9月16日～9月21日 従事可

訓練 大田花子 当方被災被害大きく従事不可

訓練 メール確認しました

※メールの場合は、返信例を参考に任意文で回答して下さい。FAXの場合は指定欄に記入の上、返信してください。

2 電話

(応答事例)

※互いに直接の対話になるので、特に決まった形はありません。訓練では電話番号の確認のみ行います。

本 部：大田区役所建築審査課の〇〇です。〇〇さんですか？

判定員：はい、〇〇です。

本 部：応急危険度判定の連絡訓練でお電話させていただきました。（少しだけお時間よろしいですか？）発災時の連絡方法は、こちらの電話番号でよろしいですか？

判定員：はい。OKです。

本 部：ほかにご登録いただける電話番号や、メールアドレスなど新しくできましたら、改めてお知らせください。ありがとうございました。これで連絡訓練は終わりとなります。